

「子どもが作る町 ミニたまゆり」の現場訪問について

2月11日（土・祝）の「黒岩祐治が行く！神奈川の現場」では、川崎市の田園調布学園大学で行われた地域貢献イベント「ミニたまゆり」（町作り体験を通じて社会のしくみを楽しみながら学ぶことを目的とした、子どもが作る町）を訪問しました。



「子ども市長」の皆さんと対談し、仕事や将来の夢について話し合いました。その後、市長から知事に「名誉市民」の称号が贈られ、知事への手紙やスタッフジャンパーがプレゼントされました。



食堂での仕事を体験しました。労働の対価である給与を受け取り、その一部を税務署に納めるなど、子どもたちが「ミニたまゆり」で学ぶ社会の仕組みを自らも体験しました。



イベントを企画・運営する田園調布学園大学の学生スタッフとの意見交換をしました。ベトナムからの留学生からは、同様のイベントをベトナムでも広げたいという意見がありました。

※イベントの詳細は、ミニたまゆりホームページ (<http://minitama.jp>) をご参照ください。